生徒の「できた!」を実現可能にするリスニング指導(ご報告)

第3クール B グループ 文教大学付属中学校高等学校 桑原 佳代

1. 12 月例会での驚きリスニング体験

「今から 20 分の音読練習で、この英文を全員が簡単に聞き取れるようになります。」 12 月の中嶋塾例会での音読指導の際、中嶋先生はそうおっしゃいました。(たったの 20 分で…?)その時私たちが聴いていたのは、TOEIC 700 点レベル、2分ほどのモノローグ。決して簡単な英文ではありません。これをお読みの先生方の中には、リスニング指導は「できた!」という実感を持たせづらく、あまり得意ではない方も多いのではないでしょうか。私も実はその1人でした。しかし、例会での中嶋先生のご指導で、私は 20 分後に同じ音声を聴いた際、「ハエが止まったような速さ(中嶋先生談)」に感じるようになったことに驚愕しました。(中嶋マジックとは、こういうことなのか…)私はその時、自分の指導を変える必要性を強く感じました。

2. 苦手なリスニング指導に挑戦

幸運なことに、例会の直後に私の勤務校では冬期講習があり、高校1年生のクラスでは、模試のリスニング演習がありました。そこで、私はそのリスニング音声を使って、教わった音読指導に挑戦しました。正答率がたったの 30%の難問で、生徒の中には英検5級の子も、40 人中3~4人はいました。しかし驚くべきことに、練習後にはどの生徒も「できた!」を実感し、教室が騒然となりました。

この「できた!」の秘密は一体どこにあったのでしょうか。このレポートでは、当日の生徒たち様子と共に考察します。

3. 当日の生徒たちの成長ステップ

●起承転結【音に慣れる】

1. 何も見ずに、音声のみを聴く (Content Shadowing) 個人 静

初めは目を閉じて、音声のみに集中して内容を聴きとります。一生懸命集中する生徒たち。しかし聴いた後、「全然わかんない」という「<u>困り感</u>」の声があちこちから挙がります。

② 文字を目で追いながら、音声を聴く (Eye Shadowing) 個人 静

次に、まずは目で視覚的にネイティブスピードに慣れるために、今度はスクリーンの文字を見ながら、音声を聴きます。中嶋先生は、生徒に紙のスクリプトを持たせた状態の時は、流れている文字の部分を指でなぞらせるそうです。

③ 文字を目で追い、ロパクしながら、音声を聴く (Lip Sync Reading)

個人静

今度は目と口でスピードに慣れるべく、ロパクしながら声には出さず、音声を聴きます。

2 years ago, pearl fishing was considered a skilled cult job.
are pulled out of pearl oysters.

③They are a kind of shellfish that is found underwater.
④There were several steps for pearl fishing.
⑤First, when the fishing season approached, divers were sent to look for places with the greatest number of pearl oysters.
⑥Second, when the divers found that place, they would build a village close to that area.
⑦After that, the divers would be in the water for 12-14 hours a day looking for pearl oysters.
⑧During the first ten days of the season, divers might feel unwell or seasick, but they would feel better as they grew accustomed to the diving routine.
⑨When the fishing season was over; they would remove the village.

years ago, pearl fishing was considered a skilled cult job.
are pulled out of pearl oysters.

③They are a kind of shellfish that is found underwater.
④There were several steps for pearl fishing.
⑤First, when the fishing season approached, divers were sent to look for places with the greatest number of pearl oysters.
⑥Second, when the divers found that place, they would build a village close to that area.
⑦After that, the divers would be in the water for 12-14 hours a day looking for pearl oysters.
⑧During the first ten days of the season, divers might feel unwell or seasick, but they would feel better as they grew accustomed to the diving routine.
⑨When the fishing season was over, they would remove the village.

● 起承転結【意味と音が繋がる】

4. 内容語・機能語の特徴に気を付けて、自力で読む 個人 動

内容語(濃色)と機能語(淡色)で色分けしたスクリプトを表示し、それぞれの品詞と発話する際の強弱・長短のルールを確認します。教室では、大事な単語とそうではない単語で言い方が変わることがわかると、生徒から「ヘぇ~」の声が挙がりました(アハ体験)。その後、生徒はリピート練習を挟まず、個人での音読に挑戦します。最初から1人で読めるのか不安でしたが、そこまで声に出さずにロパク練習のみ行っていた生徒たちは、読みたくてウズウズしていました。全員、強弱をつけて一生懸命に読んでいました。

5 ネイティブの速さの音読(ゴール)を体験し、出来ないことに<u>気づく</u> <mark>個人</mark> 動

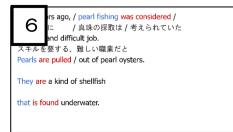
真っ白なスクリーンに、CD 音声と同じくらいのスピードで、1行ずつスクリプトを表示し、読み終わる頃に消していきます。文字が消える前に読みきるように言うと、生徒はみな、「うわー速い!」「先生、ひどい!」と諦めモード。でも、ここでひるんではいけないと思いながら、例会の時の中嶋先生のように、「でも一緒に練習してみんなできるようになるよ!」と言い切りました。

6 チャンクごとに日本語の意味を言う 全体 動

ここだけ生徒は日本語で練習します。チャンクごとにスラッシュを打ったスクリプトを表示しながら、私が英語を読み、生徒は日本語を答えます。生徒から答えが出た後、日本語を少しずつ表示させることで、生徒は意味と英文を一致させていきます。また、主語は水色、動詞はえんじ色にして、説明しなくても SV が取れるようになっています。思考を伴うタスクであるため、音読が続いて受け身になっていた一部の生徒も、ここで引き戻すことが出来ました。







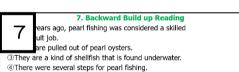
● 起承転結【読めるようになる】

7. 後ろから超高速で、リピートしながら読む (Backward Build up Reading) 全体 動

例会の時、「中嶋先生すごい!」と塾生みなが驚いたところです。中嶋先生によると、吹 奏楽ではよくこの練習方法が使われており、誰もが楽器を吹けるようになるとのことで す。スクリプトを全てスライドに表示し、最後の文の文末から、教師の後に続けて、少 しずつリピート練習をします。しかし、教師はネイティブスピーカーのスピード読むた め、生徒たちは一生懸命ついていかなければいけません。リピート練習は単調になりが ちですが、「超高速で読む」というチャレンジングな課題のおかげで、逆に生徒は前のめ りになって練習していました。

8 ペアで交互にチャンクごとに読む ペア動

スラッシュごとに切ったチャンクを、ペアでじゃんけんして交互に読んでいきます。例 会の時、ここですかさず「下に行くまでに 40 秒で読み終えること」とおっしゃった中 嶋先生。私は当日この一言を忘れ、そのまま読ませたところ、子どもたちが途中で失速 しまいました。会えて短めの秒数を伝えて、集中させる、絶妙のタイムマネジメント。 全部で1日に3クラス教えていたので、2コマ目以降の授業では時間を示した上で読ま せたところ、生徒が音読に取り組んでいることがわかりました。



- ⑤First, when the fishing season approached, divers were sent to look for places with the greatest number of pearl oysters.
- ©Second, when the divers found that place, they would build a village close (7) After that, the divers would be in the water for 12-14 hours a day looking
- ®During the first ten days of the season, divers might feel unwell or seasick, but they would feel better as they grew accustomed to the diving routine. When the fishing season was over, they would remove the village.

ears ago, / pearl fishing was considered / a skilled 8 ult job are pulled / out of pearl oysters. are a kind of shellfish / that is found underwater. There were several steps / for pearl fishing.

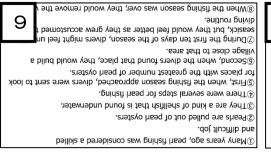
- ⑤First, / when the fishing season approached, / divers were sent / to look for places / with the greatest number of pearl oysters. ©Second, / when the divers found that place, / they would build a village / close to that area.
- ⑦After that, / the divers would be in the water / for 12-14 hours a day / looking for pearl oysters.
- ®During the first ten days of the season, / divers might feel unwell or seasick, / but they would feel better / as they grew accustomed / to the diving routine.
- 9When the fishing season was over, / they would remove the village

9. 天地逆になったスクリプトを読む 個人 動

上下さかさまに表示されたスクリプトを読みます。生徒は頭を横に傾けて、何とか読も うとします。自然と笑みがこぼれます。(遊び心)

10. 先生の英語の後に何が来るのか考えて、答える 全体 動

このスライドの例のように、前半は私が読みながら、最後の単語だけ、生徒は答えます。 まさしく、「なぞなぞ」。**マスキングで知的飢餓感**を刺激された生徒たちは、一生懸命答 えていました。



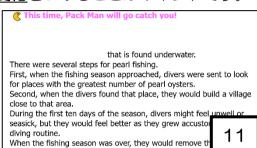
ago, pearl fishing was considered 10 what? skilled and difficult job. ulled out of what?

11 パックマンから逃げながら、速く読む 個人 動

生徒には、パックマンに捕まらないように速く読むように伝えて音読を開始します。そして、パワーポイントのアニメーション機能を使って、どんどん前から文字を消していきます。「捕まらないように」という<u>遊び心</u>がポイントで、子どもたちは笑いながら楽しそうにしかし真剣そのものでした。そして、なんと半数の生徒が真剣になりすぎて、立ち上がって音読していました。

12 起立して、チャイムが鳴り終わるまでに読んで座る 個人 動

起立して読み終わったら座るだけでなく、チャイムという課題をプラスして<u>バリエーションに変化</u>をつけることがポイントです。



rs ago, pearl fishing was considered a skilled job.
pulled out of pearl oysters.

a kind of shellfish that is found underwater.

There were several steps for pearl fishing.
First, when the fishing season approached, divers were sent to look for places with the greatest number of pearl oysters.

or places with the greatest number of pearl oysters.

Second, when the divers found that place, they would build a village close to that area.

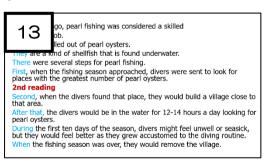
Magnetic to the dreat of the Magnetic M

®During the first ten days of the season, divers might feel unwell or seasick, but they would feel better as they grew accustomed to the

When the fishing season was over, they would remove the village.

13. パートナーと音読の競争をする ペア 動

ペアで早読み競争をします。パートナーとの間に消しゴムを置き、読み終わって早く消しゴムを取った方が勝つことができるというルールです。1st reading では、普通に競争します。勝った生徒は喜んだのもつかの間、次の 2nd reading では、ハンデを与えられ、負けた生徒が1行目を読み終わるまでスタートできません。これでみんなが勝って笑顔になることができるのです。



14. ステップ 5 で読んだものをもう 1 度同じ速さで読む 個人 動

明らかに全員が、最初の何倍ものスピードで読めるようになっていました。

この 11~14 のステップで、どんどんボルテージが上がるとともに、読むスピードもどん どん速くなっていきます。

● 起承転結【どの子も「できた!」を実感する】

15. 最後にネイティブ音声をもう1度聞いてみる 個人 静

「なんか聞こえてる…」「うわあ…」「え、すごい…」私たちが例会で感じたように、驚きとともに喜びを声にする生徒たち。<u>生徒1人1人が成長を実感</u>した瞬間でした。

4. おわりに - この挑戦からの「気づき」

たったの 20 分で驚くべき成長を遂げた生徒たちですが、その変化の秘密は、単なる 音読のバリエーションではありませんでした。流れに起承「転」結があり、静と動のリ ズムがあり、全体とペアと個を行き来する、原理原則がちりばめられた、綿密に練られ たステップによるものでした。

実は私は 10 年前、高校で本格的に教え始めた時に、同僚のある英語の先生(ここでは T 先生とお呼びします)のコミュニケーション英語 I の授業を1年間(約 120 コマ)、毎回見学するかビデオに収めさせていただき、「完全コピー」したことがあります。その1年間の授業はとても上手く行きましたが、1年後、「活動のバリエーションは増えたけれども、授業の流れの組み立て方がよく分からない」という問題に直面しました。120回も授業を見せていただいたにもかかわらず、幕の内弁当式の授業は変わっていなかったのです。私はその後、モヤモヤしながら我流で授業を行い続け、「私はやっぱり T 先生のようにはなれないのだな」とずっと感じていました。

しかしあれから 10 年後、今回同じように中嶋先生の授業を完全コピーさせていただいた私は「なぜこの授業がワクワクするのか」ということを考えることができるようになっていることに気づきました。それはこの9ヶ月、中嶋塾の協働学習で学んだ、授業の原理原則のおかげです。

「脱・丁先生ですね」

1回目の研究授業を見てくださった後、中嶋先生は私にこうおっしゃいました。それは「私は T 先生になれない」ということではなく、「私は、自分なりの山の登り方を見つなければならない」という意味でした。

しかし私は授業の見方は成長したものの、授業の組み立てに関しては、相変わらず「マンダラを開いては書き直す」の繰り返しの毎日を行っています。「3月までに、何とかこの山の向こう側の世界を、自分の力で生徒と一緒に見てみたい」その一心で、考え続けています。

今回、この音読指導にチャレンジするにあたって、実際にスライドを作成したところ、私は中嶋先生の授業をほとんどコピーしただけにもかかわらず、作成に2時間以上かかりました。例会の際にはたったの 20 分の活動でしたが、中嶋先生は何時間もかけて、単元構想から練ってくださったと思います。このように、私たちのためにいつもご準備いただいている中嶋先生には、感謝の気持ちでいっぱいです。

これまでの学びを振り返りながら、生徒の「できた!」を少しでも増やせるように、 学び続けます。